

M-6-1-6

資料名 日滿支提携に関する座談會記事

出所 日滿實業協會

作成年 19350310

寄贈者 編者

受入

注記 74P 22×15cm

昭和十年三月

日滿支提携に關する座談會記事

日滿實業協會



寄贈券
日滿實業協會
年 月 日

日滿支提携に關する座談會記事

二月十三日午後四時

來 賓

參謀本部陸軍少佐	今 井 武 夫 殿
外務省東亞局事務官	太 田 一 郎 殿
朝鮮銀行總裁	加 藤 敬 三 郎 殿
中日實業副總裁	高 木 陸 郎 殿
前滿鐵理事	十 河 信 二 殿
滿鐵囑託	野 田 蘭 藏 殿
陸軍省一等主計	平 井 豐 一 殿

出席者

評議員	滿洲セメント取締役	伊 藤 精 七
幹 事	廣 島 理 事	橋 本 種 次 郎

(イロハ順)

評議員	高尾鐵工取締役	土岐市太郎
理事	名古屋會頭	岡谷惣助
評議員	博多理事	長田義彦
評議員	東亞煙草社長	金光庸夫
幹事	日本副理事	依田信太郎
評議員	東拓總裁	高山長幸
幹事	門司理事	田中次郎
同	大阪理事	高柳松一郎
評議員	正金銀行頭取、代 外國課長	園田三郎
幹事	橫濱理事	園田寬
評議員	東京副會頭	鶴見左吉
幹事	新瀉理事	塚野俊郎
常務理事	東京副會頭	中野金次郎
監事	日滿亞麻會長	中川正左

評議員	日本製鐵社長	中井勵作
理事	三井物産常務	向井忠晴
評議員	三菱銀行會長	串田萬藏
同	第一生命社長	矢野恒太
同	東洋レヨン會長	安川雄之助
理事	廣島會頭	山縣元兵衛
評議員	東邦電力社長	松永安左衛門
同	日魯漁業常務	藤田秀雄
幹事	神戸理事	福本義亮
理事	大同セメント取締役	兒玉國雄
會長	日本會頭男爵	郷誠之助
評議員	大阪副會頭	安宅彌吉
幹事	東京理事	木村増太郎
同	名古屋理事	三浦一

評議員	大倉鑛業會長	島岡亮太郎
理事	富士興業社長	澁澤正雄
同	富士瓦斯專務	鹿村美久
評議員	日清製粉社長	正田貞一郎
理事	新鴻會頭	白勢量作
幹事	京都理事	森口繁治
副會長	大阪會頭	森平兵衛
評議員	豊年製油社長	杉山金太郎
常任幹事		篠崎嘉郎

○座長（中野常務理事）これより日滿支提携に關する座談會を開きます。本日は郷會長も御出席であります。私代つて座長の席を穢します。

御承知の如く日支間の國交が好轉の域に向ひつゝありますので日滿支提携に關し本協會と致しましても研究を進めたいと考へまして、最近支那方面を御視察になつて歸られました鮮銀の加藤總裁

を初め、高木中日實業副總裁、又豫て支那問題に付て御研究になつて居ります十河滿鐵前理事、或は野田滿鐵囑託その他、參謀本部、陸軍省、外務省の御當局にも御臨席を乞ひ、御懇談を願ふことが必要ではないかと存じまして此の會を催した次第であります。本日は洵に御多用の處、皆様御繰合せ御出席を得ましたことは、洵に本會の欣幸とし且つ感謝する所であります。

これから御話を願ふのですが、どういふ風に御願を致しますか、大體來賓の方々に十分乃至十五分位御意見なり、御話を伺ひましてから食事を致し、食後更に質問應答の形式にて續行して戴くことに致したらどうかと考へて居るのでありますが、他に御意見がございませぬば左様御願ひすること致します、簡單でございますが、之を以て御挨拶と致します如何でございませうか、一つ加藤鮮銀總裁から御話を伺ふことにしては……

○加藤敬三郎氏（鮮銀總裁） 第一番に呼出されました、何を申上げて宜しいか分かりませぬが、御指名でありますからそれでは五分間ばかり申上げること致します。

今日能く日滿支の提携といふことを言はれて居りますが、これは日滿支經濟ブロックといふやうな意味で、問題が出て居るかどうか分かりませぬが、若しさういふ意味であるとすれば、私は今日に於きましてはまだ日滿支のブロック經濟といふことは尙早だと思つて居ります。無論それは希望す

る所で、勿論さういふ工合になつて行かなければならぬとは思ひますけれども、今日の時代に於てはまだ到底むづかしいものだと思つてゐます。それで日本と滿洲との關係、日本と支那との關係、それから滿洲と支那との關係といふ此の三つの關係に付て、別々に、之を觀察せなければならぬではないかと、斯う思つて居るのであります。今日日本と滿洲との關係に付きましては、これは十分論議し盡されて居りますけれども、日滿の經濟の狀態に付ては、まだ吾々から見るといふと甚だ遺憾な點が多い、これすらもまだ満足なる狀態ではないと思はれるのであります。日本と支那の關係に於ては、御承知の通り貿易額も非常に減つて來て居る今日の狀態に於きまして、支那本部に於ては新聞には頻に排日熱が段々下つたやうに書いてありますけれども、實際に於きましては、私が先般廻りました時は勿論の話、今日と雖もさういふ風になるのは、まだく容易なことではないと思ふのであります。此の事の最も重大なる原因は、政治的問題が主になつて居るのであります。又貿易額に於きまして、一時の事を思ふといふと日本は今日殆ど三位に下つて居るといふやうな次第でありまして、今後之を恢復するにはまだ中々の時日を要することだらうと思ふのであります。それから滿洲と支那の關係は、これはまあ今日の所ではまだ非常に悪いと思ひます。殆ど滿洲といふ方から見ますれば、其の重要性に於ては極めて僅かなものであらうと思ふ。これが又急激に好

くなるといふやうな徴候も少いやうに思はれるのであります。十河君などが丁度滿洲に居られる時分にも、大分支那の方に物を出すことに付ては、非常な御苦心になつて、其の效果の顯著なるものがあつたのであります。一般的に見れば、色々な障礙があつて、今日逆も満足なる狀況には行かぬと思ひます。まあ大體の狀態がさういふ工合でありますから、今日の狀態では到底まだ日滿支の經濟ブロックをどうするといふやうなことは私はむづかしいと思ひます。支那と日本との此の狀況に於きまして、今度横竹商務官が歸られました、大分日本の借款の話などもあつたやうであります。私まだ會ひませぬから分りませぬが、まあさういふやうな話もあるやうに新聞には書いてありますけれども、私共の思ふには、まだ到底其借款といふやうな問題は起つて來るやうな狀態ではない、又假令さういふ狀態があつても、今直に日本が借款などに應じてやらうといふやうなことは適當であるかどうかといふことも、これも非常な問題だと思ふのであります。

併ながら支那と日本との間に於ては、どうしても今迄のやうなことではいかぬ。それで私共の考としては支那の狀態は何として見ても、日本と「ソヴェット」との關係がどうなるか、軍縮關係はどういふ風になつて行くか、此の二點で支那の態度といふものが餘儀なくされて行くやうな風になるだらうと思ひます。然しながら其の解決が劃然と決るのを俟つて、日本の支那に對する態度を決め

ると云ふのではないからして、どうあつても日本としては、今に於て支那に對する確乎たる方針を決めて置かなければならぬ時期だと思ふのであります。其の方針は決して昔のやうな考を有たすに、極めてフェアな態度を以て、さうして矢張各國と共存共榮といふやうな考を有つて進んで行くことが最も重要な點ではないか、斯う思ふのであります。此の結果は結局に於て日本の利益となるものと思ふのであります。

極く漠然たる御話でありますが、大體結論だけを申し上げます、私共はさういふ考を有つて居るのであります。尙ほ又皆様の御説を能く聽きまして、後刻に申し上げることがありましたら申し上げます。私共はさういふ考を有つて居る積りであります。私の申すことは先づ之を以て一段とする次第であります。

○座長(中野常務理事) 高木さん、如何でせうか。支那の客觀的情勢と申しますか、又支那人の日本に對する要求の點がどういふ所にあるか、それから日支提携の工作といふやうなことに付て、大體の御意見を承りたいと思ひます。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 實は私も先月の末に歸つて參りましたのですが、先づ彼方で要人と會ひました御話を少し申し上げまして私の責を塞ぎたいと考へる者であります。只今加藤さんから御話になりましたやうに、排日の根絶といふことは、中々容易なことではなくて、一朝一夕に行くこと

いふことは困難な事情がありまして出来ませぬが、只今も加藤さんからの御話にありましたやうに、支那の内政的の關係から行きましたが、亦對外關係から行きましたが情勢が前に考へて居た所と餘程違つて居るやうに思ふのであります。それはどういふ譯かと申しますと、從來親日とか排日とかいふやうなことは、實際上支那に於てはないものと思つて居ります。其の人が野に在りますると排日を叫び、又野に在る人でも今日は排日、明日、朝に立てば又親日の態度になるといふことが從來の例であります。所が日本と支那の現状に於ては、現に中央政府と其の反對の立場にある西南派が先づ頻に日本と提携するやうな氣運を見せた。例へば先日鈴木駐在武官が西南派の元老で、同時に國民黨の元老たる、胡漢民氏と香港で會談せられた際胡漢民氏は『滿洲問題は時の問題だ。日本と支那とはどうしても提携しなければならぬ』と話したといふ御話であります。斯様に、中央政府としても、反對派である所の西南派の方は日本と相當の諒解が濟んで居るといふことでありますから、内政的に觀ても中央政府としては、日本と手を握つても攻撃されることはないといふ安心を得て居るやうであります。其の他對外的關係から觀ましても、聯盟に頼ると謂つても聯盟は日本に對して經濟封鎖も出來ず、其の後今回の倫敦軍縮豫備交渉などに付ても、英米で日本を何とかするだらうといふ期待を有つて居たらしかつたのが、それが何も出來なかつた。それから露西亞との問題も、

今に露西亞と日本と何か起きはせぬかといふ期待を有つて居つたに拘らず、北鐵交渉なども支那の反對を押切つて、日本と露西亞と交渉を進め、殆どそれが出來掛つて居るといふやうな状態にあるのであります。それで殊に露西亞は滿洲で日本に譲つて、其の力を新疆の方面に用ひて行くのではないかといふことに對しては、政府竝に國民の危惧が非常に大きいのであります。私共向ふに行つて居ります間に、今の新疆問題等に付て新聞の論評に於ても其の事を論じて居るといふことが非常に際立つて見られました。斯ういふ影響がありました爲めでありませうか、私が十二月十日南京で、行政院長で外交部長である所の汪兆銘君に會ひまして、一時間半位話しました。其の際にも汪兆銘君は、今日の日本と支那との現状は甚だ不幸な場面になつて居つて、私も大いに關心を有つて居るが、併し滿洲問題といふものはさう重大に考へて居らぬ。支那の當面のもつとく重大な問題は、共產黨である。此の共產黨を支那から追出すといふことが支那の當面の問題であるのみならず、東洋の公敵である。又之を追出すことが支那の國策である。これは支那の官民が一致してやらなければならぬことである。其の見地から言ふと滿洲問題といふものは、大きな問題ではなく、それに包含される問題ではないかと自分は考へる。見様に依つては日本は滿洲を生命線と言つて居るが、これは要するに露西亞が西北から來ることを防ぐ爲めであるし、さういふやうな考方から推して行け

ば、支那としては東北方面の防備は日本に委して、西北方面に今進みつゝある共產軍を防いで、露西亞の勢力を支那から追出すといふことが當面の問題である。其の事が各黨部の人々竝に支那の民衆に總て徹底したならば、滿洲問題も其處に自から解決の途がある様に思ふ、斯ういふ風に考へて居るので、其の方針で以て今進みゝある。斯うなつて行けば、日本と支那とは十分提携して行けるではないかと自分は考へて居るといふやうなことを虚心坦懷に私に話して居りました。尤も其際にも、私はこれは行政院長なり或は外交部長として、あなたに御話するのではない、今支那と露西亞とは大使も交換して居る。修交も結んで居る間柄であるから、自分は當局の意見として述べることは出來ないが、兎に角自分の意見はさういふ風に思ふのだといふことを申しました。私もそれならば、今あなたが當局としてはさういふ風に考へて居られるといふことは、吾々としても聞いて非常に好い氣持であるし、さうするとあなたの言つて居ることは、私は新聞で見て、直接會つて來たのではないから分らないが、鈴木駐在武官に胡漢民君が香港で話したことと同じではないか、それならばあの新聞にも上海に於て鈴木中將が聲明して居られる通り、日本として既に西南を援けると同じ意味を以て、あなた方を援け得られる譯ではないが、寧ろあなたは率直に日本の駐在武官か、若くは公使なり領事なりに話したらどうかといふことを言ひました時に、汪君は「兎に角今直ぐとい

ふやうな譯には行かぬが、自分の氣持としては今度の上海や天津其の他で共産黨の中央政府の所在地瑞金が陥落したに對する祝賀會を催して居るのも、要するに此趣旨に外ならぬもので又共産軍が今西竄して貴州方面に入つて居り夫れから四川方面に行きつゝあるので、これは決して全部掃蕩されたのではないけれども、兎に角共産黨の中央政府が落ちたといふことは支那としても喜ぶべきことである。此の際に丁度五中全會が開かれて、黨部の人も皆南京に集つて居る際に、其の意味のことを徹底させるといふことが、要するに日本と支那とが將來提携するに非常に都合が好いといふやうな意味から、故らに其の祝賀會を大々的に催して居る譯である』と、斯様なことを言つて居りました。併しそれは非常に結構な話で、私は實はそれに蒋介石さんの力の大きなことを示す爲めの、あなた方の一つの「トリック」ではないかといふ風に噂して居る者もあるので、どうかと考へて居つたが、あなたがさういふやうな御考であるならば、至極結構なことである。私共としても領事などにも話をし、日本に歸つてそれを廣田外務大臣や林陸軍大臣にも能く話して置ませうといふ風にも話した次第であります。兎に角さういふ風に當局の者が——其の實際の局に當つて居る人が、日本と一緒に交渉して行かう、兎に角滿洲問題は時が解決するといふやうな氣分になつて來て居りますることは、其の談話に依つても見られることではないかと思ふのであります。

尙ほ其際にも出ましたのですが、今南京で發行して居る外交評論といふのに、「敵か友か中日關係」といふ題で、それが外交評論に一等當選になつて、今支那の各新聞に政府の命令で出して居りますけれども、此の作者の名前は、此の前、死にました徐樹錚の息子の徐道鄰といふやうなことになつて居りますが、實際は蒋介石氏の前の秘書長である陳布雷、黨部で相當有力な其の人の筆になつたものだといふことであります。何れにしても今日迄の關係に關して、支那が全國民に對して日本と争ふて行くといふことは、支那に取つて利益ではないといふことを示して居る一つの現はれではないかといふ風に私は感じて來たのであります。其後北京へ參りましたのでござりますが、北京方面も日本との緩和に對しては非常に努めて居りまして、これは昨年私が彼の地に參りました時にも、亦一昨年もさうでございましたが、今度特に感じましたのは、男ばかりではなしに婦人連中、これが事變前などは非常に排日が盛で、日本との感情が悪かつたので婦人連は日本との交驩には今迄は殆ど出て來ませぬでしたが、今度私一月の初め柴山駐在武官が歸國せらるゝ時に參つたのであります。北京の市長袁良君の晚餐會などには、袁良の奥さんは一寸風を引いたからといふので出て來ませぬでしたが、他所に嫁に行つた娘さんが二人出て來ました。それから各局長達の妻君が皆出て來ました。それから日本の公使館其の他の奥さんも皆出て來られました。兎に角婦人連中が大に

日本との交驩に努めて居ります。それかた其翌日商震、これは軍團長でありますが、その宴會などにも商氏、其の他奥さん連中が皆出て来て交驩に努めて居る。斯ういふ風に向ふの色々な方面が兎に角努めて居ることは事實であります。だが併しこれが先程加藤さんの仰しやつたやうに、排日を根絶するといふことは中々困難でありますけれども、今日は兎に角さういふ風に努めてやつて居ることは事實でございます。

尙ほ滿洲問題に對して、黨部の方から言つて居る言葉でございますが、要するに滿州を失つたのは千九百二十年ですが、サイベリアを失つたのと同じものではないか。先きにはサイベリアを失ひ、今度は滿洲を失つたのであるが、要するにこれは支那自體がまだ覺醒しなかつたから、斯ういふ風になつたんだといふ意味合ひのことを、黨部の者に宣傳して居りますやうな状態で、要するに此の滿洲問題といふことをぼかすことに、黨部其の外の指導階級の方で非常に努めて居るといふことが見られるのであります。

それから尙ほ日本との提携に對して、政治上の協定はこれに中々困難であるからして、先づ實際上から、詰り經濟提携、斯ういふことに對しては黃郛初め、湯爾和、周作民といふやうな人、周作民君は金城銀行の總理でさういふ銀行方面の人也非常に熱心でございますが、それには何より先づ

第一棉花からやつて行かなければならぬといふことは、殆ど異口同音に言つて居る。さうして私は北京で元日の晩には張志潭君の家で御馳走になりましたが、北京滯在中張志潭や湯爾和、周作民君等と四五回一緒になりました、其の度毎に棉花の問題に付て話して居りました。さうして日本が亞米利加から輸入して居るものは四億萬圓近いものだ、印度からも二億萬圓近きものを輸入して居る、之を自分等の調査に依ると、支那の米棉種を植えた成績に見ても、支那の棉でそれ等のものを供給することが出來ると謂つて居ります、さうして之を以て是非共日本との提携に資したい。併し其の際日本から指導はして貰はなければならぬが日本から大金を貸して戴くといふことは此際決して日支提携の得策ではない、どうしても實際的に、詰り品物を買つて戴けば、それで宜いものだからさうすると自然日本の品物を買ふことになるのだ。是非さういふ方面から支那と日本との聯絡をやつて行つたらどうかと言つて居りました、それは尙ふの方の指導階級の人は、殆どさういふ考へを有つて居るらしく見受けられました、これ等も先づ私は好い風潮ではないかと思つて歸りました。其の外尙ふの方では日本との關係を好くしたいといふことに付ては、只今の御話の如く實際上に於きましても、例へば私等自分の方の關係でございますが、私等永年の懸案でございました山東省の借款でございますとか、或は電話關係の借款でございますとか、其他材料借款即ち住友、古河關係、三

井關係の電話機械の借款などに付ては國民政府となりましてから一遍も突合も出來て居らず、元金利息の清算などもついて居ないものなども今年皆整理するといふ風に努めて居るといふことは明に認められるのであります。さうして尙ほ向ふが感情を好くしましたもう一つの原因に付きまして其理由を聞きますのに私が黄郛と會ひました時に南關東軍司令官の訓示を取出して、非常に之を喜んで居りまして、黄郛君が言ひますのに、自分は今迄の内南軍司令官の訓示程自分等に好感を與へたものはない。それはどういふ譯かと言ふと、滿洲日系官吏に對して優越感を去れといふことを言はれた。これは自分等としては今迄日本人から聞く中では一番心地の好い言葉で、支那の排日の根絶といふことは、日本が優越感を去ることゝ相比例して、支那の排日などは去つて行くものでないか、斯ういふ風に自分は感じて居るのであるといふことを黄郛は云ひましたが、尙ほ私其の事を歸りに一月九日の日に天津で黄郛が云ひました話を、天津駐屯軍司令官の梅津さんに御話ししました所が梅津さんも、いや自分の所へも南司令官の言はれた話を外から聞いて、言つて來たから「これは決して南軍司令官だけの意見ではなくて、日本陸軍の最高幹部の指導方針が茲にあるのだ。事實日本の有識階級の指導精神は茲にあるのだから、決して其の點は心配せぬでも宜しい。だから南軍司令官が更に其の意味のことを滿洲に於て言はれて居るのみならず、大將が東京を出發する時に

も、途中大阪其の他で話されたと同じ意味で言つて居られるから、其點は安心して宜しいといふやうなことを言つた時に、涙を流して喜んで居つたといふ風のことを梅津さんも話をして居られました。斯ういふ風に日本の眞意を漸次諒解して來たといふことも、結局蔣介石氏が此間有吉公使や鈴木中將などと會うやうになつた一つの理由ではないかと思ひます。尙ほ私だけの御話が餘り長くなつては宜しくないと思ひますから、此の邊で止めて置きまして、又後で御話致しませう。

○座長(中野常務理事) では十河さんに一つ支那の情勢と滿洲との關係に付て御話を願ひたいと思ひます。

○十河信二氏(前滿鐵理事) 私も日支の關係は最近に少くとも根本に於て非常に好轉しつつある。形に於て現はれる所はまだないけれども、根柢に於ては非常に好轉しつつある、斯う考へて居る一人であります。何故さういふ風になつたかと申しますると、私の考では日支兩國共に、日支關係を開するといふことに付て眞劍になつて來て居る。それは國內の事情、或は國際の關係なりに於て、兩國はどうしても親善にならざるを得なくなつて來たといふ所に、兩國が根柢に於て今日迄の惡化して居る關係を打開しようといふ眞劍の態度に出て來ることゝなつた原因ではないか、斯う考へて居るのであります。そこで然らば直に色々な問題が解決するであらうと考へるといふと、中々さう

は行かない。そこで之を形に現はし、具體的に日支關係を打開するにはどうすれば宜いかと言ふと、私は政治關係、經濟關係此の二つの關係に分けて行かなければいかぬと思ふ。政治上の問題に付ては、支那の國柄上容易にこれは打開が困難であります。そこで先づ經濟上の問題に付て、日支兩國が事實上提携をするといふ方針で進んで行く外はない。此の點に付ては支那の經濟人、銀行家であつても企業家であつても非常に意が動いて居ると思ひます。現に吾々に向つて具體的の問題を今色々と申込んで来る。それ故に日本の投資にしる、或は貿易の關係にしる今日民間の事業家各位の方面に於て、打開しよう、事實上提携してやつて行かうといふ志があれば、必ずこれは實現し得べきものではないか。勿論之に付ては政治上、外交上或は軍事上援助が要ると思ひますが、それ等のものがあれば、必ずこれは出來得べきものと私は斯う考へて居るのであります。殊に此の滿洲と支那との問題に付きましては、元來が支那人も滿洲人も同じ民族でありますから、彼等は どうしても一緒にやらうといふ氣分が其の中には非常に強い。現に先達て私がまだ大連に居りまする際に、支那人が態々滿洲へやつて來て投資をしたい、或は物を買ひたいといふことで、具體的の問題を提げてやつて來た。又更にやつて來ようといふことの申込みまであつた。滿洲としてもどうしても支那といふ大事な御得意を今日のやうな状態に置いては、滿洲の經濟建設といふことは非常に困難では

ないか。滿洲の經濟的建設の爲にも滿支經濟關係を改善して行くといふことが絶対に必要なことではないか、さうして其の機運が現に非常に動いて來て居る。日本の民間の事業家各位の方面に於て、進んで手を出してやつて載きたいといふことを私は痛切に感じて居る一人であります。どうも甚だ簡單ではありまするが、これだけを申上げて置きます。

○座長(中野常務理事) それでは次に野田さんに一つ滿洲國の産業を振興せしむる爲に、支那との提携の必要な所以竝に其の方策といふやうなことに付て、一つ御話を願ひたいと思ひます。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 滿洲の今の農村の状態は相當苦しいやうであります。それから殊に支那人系統の都市企業、これも相當に苦しいやうであります。此の二つの窮乏の原因を釋ねて見まするといふと、北支那との經濟關係が絶ち切れた。斯ういふことが可なり大きな原因ではないか。例へば天津へ行つて見ますると、從來天津とそれから滿洲との間には普通の爲替關係の外に滙票カイビヤウといふ手形が流通して居ります。さうしてこれが兩者の經濟關係の程度を何時も指數のやうに示表して居つたのですが、現在では滿洲の滙票カイビヤウが天津に通用しますのは、確か一箇所か二箇所かといふ程度でありまして、殆ど通用して居りませぬ。そこで例へば哈爾濱に致しましても、若くは奉天邊りに致しましても、油房のやうなものでも其の他の企業でも多くは天津の金融市場に依存して行はれて居た、

ものでありますが、事變後斯ういふ資金の入る聯絡がなくなつた爲に、仕事が出来なくなりました。それから農村窮乏の原因も色々ありませうが、主として世界的な農村恐慌といふことも實は原因の重大なるものに違ひありませんが、もう一つは北支那との高粱、其の他の天産物の取引といふものが殆ど杜絶をして居る、斯ういふことが今の滿洲の農村窮乏の一つの原因であります。今も御話がありました、滿洲人々々といふ言葉を使つて居りますけれども、事實滿洲人と支那人といふものは別のものではない。行政的な區劃が違つて居りますけれども、實は滿洲の人と北支那の人、これは廣い意味では區別が付きませうが、矢張同一のものであります。隨て之を政治的には區別することは出来ませうが、民族的に之を區別するといふことはむづかしい。斯ういふ風に私共は考へて居るのであります。隨て滿洲經濟開發の爲には、少くとも滿洲の今の農村窮乏といふものを、事變前の状態に復するにしても、北支那との聯絡といふものが完成しなければ非常に困る。これが最も重要な要件ではないかと、私は考へて居るのであります。そこで然らばどうすれば宜いかといふのですが、それはまあ政治的に色々な原因もありませうし中々むづかしいことではありませうが、此の間北京で要人達の意見を聞いて見ますと、滿洲問題といふものは政治的な意味に於ては、日本と支那との間に一つのデッド・ロックを成して居るもので、どつちも讓歩する譯にも行くまい。南

京政府も若も滿洲を承認するといふことになる、國內に對する輿望がなくなるから、詰り人民の信賴がなくなるから、進んで滿洲國を承認しようといふことを積極的にやることはむづかしい。さればと言つて日本政府が特殊の方法を滿洲に對してやらうといふことは、これも生命線であるから不可能であるから、支那の言ふ通りにはなれない。さうするといふと政治的な意味に於ては此の問題は、餘程の情況の變化がない限り殆ど不可能に近い状態に置かれて居る。故に北支那に於ける所の滿支の政治關係は今では單に小康を得て居るのみであつて、積極的に打開されて行く見込はないのである。けれどもこれは支那の民族意識の上から考へると此の情況と全く相反した事實が存在して居る。といふのは即ち生活意識の上から云へば北支那の人は滿洲國の獨立を希望して居る。即ち滿洲國は現在過渡時代であるから非常な窮乏の状態にあるが、日本は張作霖とは違ふから、日本が滿洲國の建設を援けて居る限りに於ては、近い將來に於て必ず善政が布かれなければならない。而も漸次に其の善政は地方民の必要に應じて傳統的な宗族的自治を許すといふ傾向も現はれて來る、そうなるに詰り支那人が常に考へて居る保境安民といふやうな生活理想に合ふやうに滿洲國の政策も段々と變化して行くことは明らかである隨て數年後には必ず滿洲國は支那の社會が長い間希望して居つたやうな善政が行はれて來るに違ひない。斯ういふやうな感じを以て、生活意識の上から行

けば、寧ろ滿洲國の建設といふことは羨しいことである。隨て滿洲國と同じやうな状態が矢張北支那にも其中に及んで行く。そこで若も日本が、支那人の希望するやうな保境安民といふ政策を執つて呉れるならば、懸て北支那も第二の滿洲たることを希望するだらう、これが生活意識の上から言つて、滿洲國の獨立を歓迎するといふ内容であります。斯ういふ風なことを、これは黃郛氏も言つて居つたやうでしたが、殷同氏邊りもそれを言つて居りました。それから民間の例へば、從來滿洲と最も金融關係に於て深い關係を有つて居つた杜占鰲氏等の意嚮を徴しましても、矢張さういつたやうな考を有つて居りました。そこで此の行詰つた難局を打開する方法としては、政治的な意味に於てこれを解決するといふことは、暫く放つたらかして置いた方が宜いのではないかといふのであります、本來日本の支那に對する外交といふものは、政治の表面に現はれた軍閥であるとか政客であるとかいつたやうな、のを相手にして、さうしてこれに長い間欺されて失敗して來た經驗もありま

すし、今後と雖も私はさうだらうと思ふのでありますが、一體御承知の通り支那の統治機關と統治せられる所の人民とは全く別な性質を持つて居る。極端に言ふといふと、これは敵味方の關係にある。であるから例へば支那の商人なり農民なりに聞きますと、國といふ字は堂といふ字と同じだ、堂といふ字は一つの日本の組合とか合資會社とかいふ一つの營利形態であります。さうして從來の

支那の謂ふ國といふのは、これは人民を營利の對象とする一つの企業形態であるといつたやうな意味に考へて居るやうであります。そこで支那人の立場から言ふと、成べく政府の干渉を受けない。自分勝手に放つたらかして貰ふ。これが善政であつたのであります、だから例へば共產黨などは千九百二十四年にカラハンが乗込まうとした時にも、支那大衆の人望を取る爲に「支那社會から手を放せといふやうなスローガン」を掲げて煽動したのであります、要するに支那といふものが元來有つて居る所の保境安民の思想を其の儘に成長せしめてやる。斯ういふことではないかと思ひます。

それから其の他支那の治世で最も安全であつたといふ康熙帝の時代にしても其統治の内容を調べて見ましても所謂國、國を代表する所の政府、それから治められる所の人民との間には法律で治められて居るのではなくて、實は請負制度、支那ではそれを包辦パオパンと言つて居りますが、其の包辦の制度が最も都合好く行つた時代が、最も支那に於ては好く治つた時代、それは歸する所、支那の自然に發生した經濟單位で、自分達に最も都合の好いやうな自治を成べく最大限度に認めて呉れる。斯ういつたやうなことが一番都合が好い、さういふことで支那が治まる。斯ういつたやうな考が、殊に北支那では、例へば北京邊りの政治では、あの縣として一つの自治をやつた歴史から申しまして、文献の上でも尙ほ二千年の歴史を以て、特に支那中國の自治が發達して來て居る。殊に北支那

の自治が発達して来て居るといふのは、さういふ意味で一切の生活が自分の郷土を本位にして、其處が安全であるならば宜い。詰り支那式の無政府的な見解、これがまあ支那の保境安民の思想であります。其の保境安民の思想から言ふと、自分の郷土が安全になり、さうして自分の生活が安定して来れば、國といふもの、即ち社會を對象とする所の一つの政治形態は、滿人であらうと漢人であらうと、外國人であつても一向差支はないのだといふ斯様なことを極端に言ふのですが、實は支那の保境安民といふ立場から行けば、是認して宜いかと思ふのであります。そこで滿洲國の獨立といふことは、民族的の意識から行けば支那にとつては非常に困つたことだが、併し生活意識の上から行けば、非常に歓迎して差支ない、といふことになつたんぢやないかと思ひます。そこで矢張經濟關係を是正するといふ方法から行きましたも、方法としては向ふの立場をはつきりと呑込んで、さうしてそれに即應した政策を行つて行くといふことでなくちやならぬと私は考へますが、そこで先程高木さんの御話で、棉の話をして居られたやうであります。これは近來北支那の人が日本に對して、特に滿鐵に對して屢々説いたところでありまして、大體日本が支那を經營するとか何とかいふやうなことを言つて居るが、其の方法は英吉利がやつたり、亞米利加がやつたり——亞米利加がやることは少し違ひませうが、主として英吉利なり獨逸なりがやつたやうな帝國主義的な方法を採用

つて居るから、日本と支那との關係は旨く行かぬ。若しも此の兩者の經濟關係を物々交換の原則を標準にして行くならば、日本と支那との關係はどんなことがあつても對立關係が出来ることがはない。仲は悪くならぬのだ。そこでさういふやうな状態に進めるには、一番先に日本が支那に與へるもの、それから支那が日本に與へるものを兩方の自然的條件に照し合せて決めることが一番必要であらう。例へば棉のやうなものは態々日本は亞米利加から買はなくても、適當な指導と援助とをして呉れるならば、北支那では何ぼでも出来るぢやないか。此の棉を日本が買つて来て、適當な纖維工業なり何かをすれば宜いぢやないかといふやうな、總てさう言つた兩者の間を相互依存の關係に置く、詰り物々交換を元として、經濟關係を設定して行く、斯ういふやうな政策を執つて行つたならば、日本と支那との關係といふものは、永久に對立する虞はない。何故ならば其場合に於ては政府と雖も決してそれに反抗し得るものではない。といふのは中國の政府は地方軍閥を基礎にして立つて居るし、地方軍閥は何に依つて立つて居るかと言へば、飯を食はないで鐵砲を持つても何にもならないからして、矢張其の地方の經濟に基礎を置く。而して地方の經濟に關する限り、地方の利害關係を無視することは出来ない。そこで日本と支那との關係に其の根本を擱へて置きさへすれば、南京政府と雖も何も出来ることはない、斯ういふやうなことを言つて居つたやうであります

が、私は最近滿洲國が北支那に對して執られて居ります所のあの政策が、經濟的な相互依存關係を先づ北支那との間に設定しよう。さうして日本はそれを基礎にして親日をしよう、斯ういふやうなことは至極適當なことであつて、これ以外には日滿支といふものを將來一つのユニットの中に治めて行く方法はない。斯う私は考へて居ります。そこで日滿支といふ此の三つの、各々異つた經濟單位のユニットに治めて、ブロックを作つて行かうといふことは、急に今直ぐやらうとして見た所で、加藤氏の御話通り私は當分むづかしいと思ひます。併ながら此の原則を基礎にして相互依存關係を經濟的に個々別々に始めて行く、さうして南京政府が何と言はうとも彼と言うとも、さういふことは大して問題にするには足らぬ。といふのは南京政府に限らず、中央政府は矢張地方の分立した經濟單位を基礎にするより外には方法がない。存立の可能性がないから其の地方の經濟が特殊の利害關係を有つて居る日本に對して、特殊の反對行爲を執り得るといふことは、これは有り得ぬ。然るに其の根本原則を擱へずして、單に浮草のやうな熱のない、所謂封建的な軍閥といふものに對して政治的に交渉すれば、それで能事終れりといふやうな考方が今現に残つて居りますから、それが非常に禍するのではないか。でありますから例へば今の南京政府が日本に對する態度の如き、新聞の上に於ては非常に親日に決定したやうではありますけれども、或は今の支那の經濟が日本に依存せ

ずんば、都合が悪いといふ立場を見たからで、何もあの人達の力で大勢を左右するといふやうなことは絶對にない、と私は考へて居ります。そこで何はともあれ此の政治的な動向を無視する譯には參りませぬが、南京政府をして必然的に日支の提携をさせようといふやうな具體的な方法としては、今滿洲國が北支那に對して執つて居る所のあの原則を擴大して、さうして同時に日本も其の原則に依つて、各部門に亘つて經濟的提携を行なうことが必要であります。支那側では色々なことを言つて來て居るやうであります、たとへば先づ銀行から作らうぢやないかとか。隴海線の終點の海州と日本と直道の航路を作らうぢやないか。或は天津に物々交換の取引所を拵へやうぢやないか。それから又例の天津を中心にした自動車網を張らうぢやないかとか、それは日支合辦にしようぢやないかといふやうな、色々な具體的な形式に依つて提示されて居るのは、矢張さうしなければ北支那の經濟が立つて行かない根本事實に目醒めた結果でありまして、此の勢力に對しては南京政府と雖もどうすることも出来ないのであります、恐らく私はそれが本當だらうと思ふのであります、それから現に日本の對支貿易は税關の數字に於ては非常に減つて居る。併し北支那の實狀を見て見ると大連を通じて輸入される密輸入の數といふものは表向きに記るされたものよりずっと多いのではないか。併ながらそれをやらなければ、北支那の經濟は立つて行かないから仕方がない、又官憲

も密輸入を黙許するより仕方がない。斯ういふことを言つて居りましたが、要するに北支那方面の經濟關係が日本に依存することが最も合理的で都合が好い、斯ういふ事實が證明する。でありますから私は直に日滿支經濟ブロックの建設、斯様な抽象的の目標に向つて急に騒ぎ出すといふことは愚の骨頂だと思ふのでありますが、併し將來さういふ結果を生むべき手段を一つ／＼經濟的に進めて行く、それは滿洲が北支那に對して働き掛けて居るやうな、あの部門を更に日本の方へも延長して行く、斯う言つたやうな所から進んで行けば、結局終ひには何時の間にか日滿支經濟ブロックといふものは出來上るだらう。それを雖れて單に外交々渉なり其の他の方法に依つて、日本と支那との提携を圖つて行かうとしてもそれは矢張空中樓閣であります、若し從來のやうに政客なり軍閥なりを相手としてゐたならば之を何回繰返しても今迄の日支外交を繰返すに過ぎぬ丈けで何の効果もないと思ひます。そこで私は昔のやうな政策を執ることを止めて、矢張兩方が相互依存するといふ立場に立還つて、さうして今の方針を進めて行く外には仕方がないのぢやないか、斯ういふ風な考を有つて居る次第であります。

○座長(中野常務理事) 太田さんに最近の親日態度に進んで來た情勢に付て、何か御話を願ひ度いと思ひますが……

○太田一郎氏(外務省東亞局事務官) 最近新聞などで非常に書立てられて居りますが何れも大部誇大な報導が多い様であります又先程高木さんが御話になつたやうな汪兆銘の話といふやうなものは、決して最近始つた事ではありません、只今滿支關係といふ御話がありました、主として政治的の提携といふやうなことに付いて御話しますと、滿洲問題をカバーしてしまふやうな大きな問題を發見しようとか、或は滿洲問題をカムフラージュするやうな一つの形式を發見したいといふ様なことは前々から考へて居つたやうで、私の氣付いて居る處では大體一年位前からではないかと思つて居ります。それで今度は新聞などに色々出て居りますが、何もあれは急に支那が親日になつた、或は之に對し日本で何かしようといふやうなことではなくて、あれは要するに段々さういふことを希望する一般の空氣の反映して居るのだらうと私は考へて居ります。一般に能く支那通と言はれる人中には、支那は日本のすることに對してよく裏を搔くそれで支那側の裏を見るといふことを以て非常に得意、——得意と申しましたら語弊がありますが、さういふことを見ることに興味を有つて居るやうな人があるやうでございます。今度の蔣介石の聲明、あれは御承知の通り蔣介石が南京であらういふことを話して、さうしてそれが二月一日の中央通信社といふまあこれは國民政府の通信機關であります、それに依つてその儘各地の新聞に掲載せられて居ります。例へば漢口であるとか

上海であるとか北京邊り、其の他南の方でも皆中央通信として載つて居りますが、——此の蔣介石氏の談話なるものは見方に依つて非常に大なる問題であると私は思つて居ます。所がこれに對して所謂穿つた見方をする人の中には、支那側が日支提携と云ふ様な事を云ひ出すといふのは、或は日支親善といふことを現はすといふことは、例へば亞米利加に對し其の銀政策の緩和を求め一つの手段であるとか、或は蔣介石は四川討伐に行つてしまふと其の留守のことが心配になる、或は日本から色々なことを要求しようとする前提であるといふやうな觀方をする人もあるのでありますが、勿論斯ういふことを考へて置くことは必要でありませんが、私見に依りますると何もさういふことを日本側から口に出して言ふ必要はないと思つて居ります、斯ういふやうな支那側の空氣に對しては、矢張それが若し嘘であるとしても、嘘から眞を作るといふやうな氣持で對して行くのが宜いのぢやないかと思つて居ります。今迄色々經濟方面の御話を詞ひしましたが、十河さんや野田さん邊りの御話には私も全然同感であります、唯日支經濟的提携といふことに對しては、日支の特殊關係及支那の國內的の持別の事情等からして、常に政治的な問題がこれに附纏つて來ることを忘れてはいかぬと思はれます。それで差當つて日支の關係が今度非常に好くなつたと新聞で書立て、居るやうなことに關しても、新聞で書いて居るやうな大きな問題に對して援助するといふことは政治上非常に

機微な關係があるばかりでなく、又實際上日本としてもそんな援助例へば銀問題であるとか其の外色々あるやうであります、夫れは出來ないのだらうと思ひます。唯比較的に政治問題を離れた具體的な問題、例へば先程から御話があつた北寧沿線の棉の栽培の問題だとか、山東に於ける農業指導員の話だとか、それから山東に於ける羊毛の奨励、其の外私は色々手近かな所から實業界の方にやつて戴けることが非常に多いであらうと思ふのであります。即ち成だけ政治上の問題とならぬ様な事項——政治上の問題と言ひますと、支那の國內的から見ますと、要するに反蔣派の排日宣傳材料にならぬやうなもの、即ち地方的な、さうしてこれも今迄のやうな一黨一派の爲に、或は或種の權益を代償として取るいふやうな、さういふやうな援助ではなくて、甚だ抽象的ですが、農村の一般大衆の福利を増進する。それから其の人達の購買力を増進してやるといふやうな方面——それに付て殊に必要だと思ふのは例へば棉などは一番好い例として擧げられるのですが、要するに棉を作れば日本人が買つて呉れるといふ、それが支那人に能く分つて兎に角棉を作れば何とかなるといふやうな考があるのであります、羊毛にしる棉にしる、今迄の御話のやうに一番有望とされて居るのは其點だらうと思ひます。即ち作りさへすれば日本が旨く買つて呉れる。要するに何か収入の途を圖つてやる。先づ斯ういふやうな問題が私は一番手近かな問題として、宜いのぢやないかと思つ

て居ります。又此の種の方面の援助は同時に日本の國內上の政治問題とも關係が非常に薄い。それで内外各方面から見て非常に宜いことであると思ひます。如之ならず斯う云ふことは日本の實業界の方々が支那の方面と直接接衝して出来ることでありまして之に對し私共としてやることは要するに斯ういふ問題に對する黨部だとか、或は中央政府だとかの排日の宣傳、例へば日貨を買つてはいけないとか、日本からの援助はいけないのだといふやうな、さういふ支那側からの妨害を排除するといふ即ち實業家方面の工作に對する妨害の排除と云ふ、どちらかと云へば稍極的な方面の御援助になるんだらうと思ひます。

話が少し外れましたが、要するに新聞等によりますと所謂日支親善とか云ふ事が今度急にぱつと燃え立つて來たやうに見えますが——之は支那に於ける親日家だとか排日屋だとかいふ區別は私に云はすれば大部分日本人が付けた色分だと考へて居りますが、——親日になつたといふのは急に何もさう「親日」になつた譯ではない。要するにさういふ風に支那人も考へる。日本人もさういふ風に考へる、或はもう少し言へば、さういふことを希望するといふ何處となしに空氣が起つて來たものであつて、此の空氣は私はほんの一寸したことから出て來得るものだと考へて居ます。それで例へば去年の夏でありましたか船津さんなんか上海の實業家を連れて南京に旅行致しましたが、あれな

ども當時は實に一寸したことなんですけれども、今考へて見ると中々有意義なことであつたと思ふのであります。多少話が外れましたが是位にして置きます。

○座長(中野常務理事) 今井少佐、何か一つお話を、滿支間の連絡に付てのお話、或は其の他の問題で……

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 今のお話に付て、ちよつと申し上げたいと思ひます。滿洲事件勃發以來日本は非常に列強から反感を買つて居つた所最近になりましてからは先程高木さんからもお話があつたやうに、列強の日本に對する態度が多少緩和して來たかと思ふのであります。偕て此の東洋の情勢を見ますと滿洲國の人心も安定し、治安の維持も強化されて、建國の基礎も着々と附いて來ました。これも畢竟するに、日本が非常に斷乎たる決意を以て、滿洲國の爲めであるならば、國を焦土とするも敢て厭はないといふやうな氣持をもつて事に當つてゐる事が明に看取されたが爲に、滿洲國人の人心を安定し、あの極度に混亂した所に、治安の維持が回復されたと思ふのであります。

又先程からいろいろお話がありましたやうに、支那に於きましても、最近日支の間が好轉されつゝあるかの事實が萬一多少なりとも見受けられるといふやうな状態がありとすればそれはあの老獪

にして複雑なる國民性を有つて居る支那人が、衷心から日支提携の必要を痛感し、覺醒して、さういふ風になつたといふよりも、寧ろ日本の確固不拔の決意に對して、彼等が徒に實力の伴はない抗日宣戰といふやうなことをしては實質的損害を招く許りだといふことを痛感し、又其の實物教訓に接したために、いろ／＼今迄やつて居つた空宣傳を止めたといふことになつて來たのではないかと思ふのであります。兎も角も世界の情勢を日本に多少なりと有利に仕向け、而も滿洲の建國の基を作り、さうして支那自體の情勢も我が方に有利に展開したといふ所以のものは、一に確固不拔の信念と、嚴乎不動なる態度、それにつれて日本の國民を緊張努力させて、日滿不可分の關係が確立された爲に、日本の實力が飛躍したといふ、此の結果に基くものだと思ふのであります。表面的な理由はいろ／＼ありませうが、非常に分りきつた、ありふれた言ひ方でありませんが、詰る所、日本の實力と日本の態度と日本の決意といふものが、彼等をしてさうしななければならぬやうな、自然的な情勢を作つたものではないかと思ふのであります。

そこで最近日支の間の緊迫した感じが多少なりとも緩和された結果日本の國民が事變後三年間、或は事變前から十年間も待望した状態が漸く來たといふ氣持になつて、これに狂喜するの餘り、一を與へて二を奪るといふやうな、彼等の好意を期待して、迎合的な態度を採るといふことがあつた

ならば、折角こゝまで國力を賭して斯ういふ情勢に持つて來たものが、又再び日支の關係を悪くし、支那人に日本與し易しといふやうな感じを起させて、さうして日支の關係を逆轉させ、東亞の事態を復た混迷せる状態に逆戻らせるやうなことがないでもないといふやうに、私は思ふのであります。そこで支那に對しては、依然從來の決意を嚴然として堅持して、微動だもしないといふことが絶對に必要なものではないかと思ふのです。これが爲には日本の國家を擧げて、官民一致の態度を以て臨む必要があるやうに思ふのであります。

そこで世間には、さういふ日本の態度と謂ひますか、方針と謂ひますか、さういふやうな事はマア判るが、併しさういふ風に政治的な事ばかり考へて居つても、なか／＼物事は運ばないのだからして、先づ政治的のものには全然觸れる事なく手取り早く提携し得る經濟的方面から進んだらどうかといふやうな御意見もあるのでございますが、私最近、昨年 of 年末に支那滿洲を一廻り致しましたが、其の感じを以て見ましても、北支那及び中支那——南支那は別であります。北支那及び中支那といふものゝ情勢は、餘程前よりも變つて來まして、各地の軍閥あたりといふものは、南京政府を憚つて、南京政府の意思に反して何か外國と事をやるといふやうなことは、ちよと前よりも出來難いやうな立場になつて來て居る。韓復榘に致しましても、閻錫山に致しましても、昔の張作霖

と吳佩孚が對立したとか、馮、閻、吳、張といふやうなものが割據的に對立した當時のやうな風に、手軽に物事を外國とやるといふやうなことは、非常に難しくなつて來て居る。又假りに實現出來るやうな場合があつても、事苟も外國に關係することであるならば、これは總て南京政府といふものに持つて行くといふ風に、南京政府に藉口致しまして、成べく自分が其の衝に當ることを避けるといふやうな態度が、以前よりも寧ろ濃厚になつて來て居るやうに思ふのであります。そこで地方の軍閥とさういふやうな問題を協議致さうと致しましたが、實際には誰とやるか、韓復榘がやるのか閻錫山がやるのかといつても、誰もやる者が無い。さういふ状態になつて來て居る。更に又さういふ軍閥は別に致しましてお互ひの國民を相手にして即ち國民外交といふ名を以て、國民と國民とやるといふならば、それなら容易に出來さうにも思はれるのであります。御承知のやうに國民黨の裏面的暗躍といふものが、人民には非常な脅威を與へて居るのであります。民意の暢達が全然行はれて居らないといふやうな支那の現状に於きましては、これ亦政府を抜きにして重大な問題を發展させるといふことも、實際的には行はれないのであります。私はどうしても政策的なこと、經濟的の問題解決といふものは、同時に、併行的に行はるべきものではないかと思ふのであります。成程先程野田さんのお話もありましたやうに、昔は浮動的な勢力である所の軍閥の相手に、國

民の利害といふものを度外視して事を運んだ時代もあつたかも知れませんが、斯ういふ事は今日到底行ふ價値の無いといふことは言ふ迄もないのであります。併し又それかといつて經濟的に進展するといふ其の言葉を、直に其の通りに簡單に考へまして、支那の政府は全然顧慮する事なく國民だけで以て國民同志で話を進めて行けばそれで萬事出來るかと言ひますと支那のやうな國では、これ亦それだけではいけないのであつて、政府とも交渉し、又一般の輿論も有利なやうに御膳立てをして置いて、そこに初めて經濟的な提携といふものが出來るのではないかと思ふのであります。即ち先程も申しましたやうに、政治的と經濟的と、兩方が併行的に行はれて、初めて優秀な結果を收め得るのであり、又そこに日本の官民一致した力を以て、外交問題の解決に當るといふことが大事である所以もあるのであります。

然しさうは申しますが、それならば現在對支問題を全面的に解決するといつても、政治的方面から入ることは實際に困難ではないか、だから先づ經濟的問題から着手して行くのだ。斯ういふ議論に對しましては、これは私も其の通りだと思ふのであります。詰り最後の目標といふものを、日支問題の全面的解決といふことに着眼を置いて、さうしてそれをやるのが最終の目的ではあるけれども、現在行はれないから先づ經濟方面から入つて行く。即ち容易いものから入つて行つて、

遂にむづかしい事を仕上げて行く、斯ういふ風な考の下に、經濟的問題から着手するのだといふやうな考であれば、これは結構な事であり、隨て又私共も十分其の成功を期待する者であります。併しながら此の場合に於きましても、今申しましたやうに、最後の目標といふものは、全面的解決にあるのだといふことを考へて居る限りに於きましては、先程申しましたやうな、支那に對する我が國の方針とでも謂ひますか、支那に對する我が國家として執るべき道を飽くまで嚴然たる態度を以て進み、絶対に迎合的な態度を執らないといふ根本觀念に悖らないことが、是非必要だと思ふのであります。さういふ氣持を有つて居つて、さうして今言つたやうに、支那側の示す誠意の程度に従つて先づ經濟的方面から入つて行つて、遂に全面的解決に引張つて行くといふ風になるものであるならば、これは私共も結構なことであると思つて居ります。先づこれだけを申上げて置きます。

○座長(中野常務理事) では平井さんに一つお願い致します。

○平井豊一氏(陸軍省一等主計) 支那の話が大分出ましたが、私の毎日やつて居りますことは、滿洲の財政とか金融とかいふものであります。日滿支三國の經濟提携といふ關係のことは——これから先きは速記を止めて置いて下さい……(速記中止)……大體此の位で……

○座長(中野常務理事) 時間も大分過ぎましたし、洵に粗末なものです。別室にお食事の用意を致して居りますから、どうぞお召上りを願ひます。お食事が終りましたから、續いて此處で又座談的にお話を願ふことに致します。

(晩 餐)

○座長(中野常務理事) それでは續いて御懇談をお願い致します。高木さんが何かお急ぎのやうでありますので、高木さんに御質問があれば、先きをお願いしたいと思いますと思ひます。又先程は大體に於て一般的の御意見を伺つたのでありますが、折角の機會でありますから、各般のことに互つてお話を伺つて置きたいと思ひます。

○三浦一氏(名古屋理事) ちよつとお伺ひしたのでございますが、支那政府要路の人達は、對日關係といふことに對して、非常に最近意見が變つて參つたやうでございますが、向ふの實業家といふ者の考は、どういふ風になつて來て居りませうか。さうして今日は當路者の意見が成立つ前に、既に先づ日支關係を圓滿にする、或は兩方の共同で何か一つの仕事を營むといふやうな、日支兩方の關係を好くすることが必要ではないかと考へて居るのであります。先づ第一に實業家及び小さな商工業者の考は、どうでありますか、其の邊を伺へたら結構なんです……

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 御質問になられたことで、先づ商賣人の方でございますと、これは

特に日本との商取引の關係がきわ立つて好くなつたといふことはないと思ひます。これらに關する限り、さういふことは聞きませぬネ。今迄の排日といふことも、少くとも黨部の方の政治的な意味が含まれて居るのでありますが、併し今度の日本と提携して、商賣を致して行かうといふことは、それだけ政府の方で今迄の政策より緩和して來ましたため、今迄の日支關係といふものは、黨部の方にあり、いふ考が存在して居つたからであります。近頃では政府の態度が緩和して來ましたために、主なる實業家——實業家と申しましても、支那の實業家と謂ふのは、銀行家若くは銀行家關係のもので、それはやはり浙江財閥といふやうなものです。それらの者が日本との經濟提携といふやうなことを、此の頃は表て立つて言ひ得る時機になつて來つゝある。それで先程申しましたやうに、北平で棉花に依る日本と支那との經濟聯携を唱へて居ります周作民、周作民といふのは金城銀行の總經理でありまして、日本の京都帝國大學出身でありますが、これなどは北支那の實業界の領袖の一人であります。領袖と申しますと、此の前太平洋會議に日本に參つた吳鼎昌、鹽業銀行の總經理ですが、此の吳鼎昌と周作民が北支那の銀行團の領袖であり、又同時に此の地方の實業界の領袖であります。殊に周作民などは棉花のことに熱心に當つて居る。それで自分でも植棉救國といふことを唱へて、これをスローガンとして居りますが、先生等としては、疲弊せる農村、殊に北支那

の農府の疲弊を救ふ上に於ても、棉花に依る外ないといふことを言つて居るのであります。それには日本の提携が非常に必要だといふ點まで言つて居ります。さういふ關係になつて居ります。其の外山東方面に行きますと、これはもう論なしに、滿洲事變、上海事變のあつた當時ですらも、排日といふことは殆どないやうに承知して居りました。ですから此の方面の問題のないことは無論のことでありまして、唯上海方面は、これがやはり一番問題で、何といつても日支關係の衝に當る南京政府に近い關係がありまして、日本人と今日でも尙ほ取引をすることは遠慮して居りますが、これは私が最近に見て參りました狀況に依りますと、それは餘程緩和されて行きつゝあるやうに見受けられます。これは浙江財閥の方の領袖であります張公權、李銘、若くは錢永銘、これは四行儲蓄銀行の總經理をやつて居るのであります。さういふ人達はやはり元は日本の留學生出身であります關係でもありますが、これらの者は今日になれば、どうしても日本と支那とは提携してやつて行かなければいかぬといふ事を言ひ出し得るやうな時期が來たといふことになりました。ですから裏面の事をいろ／＼と推察して言ひますれば、それはいろ／＼と向ふの裏面の事情を知つて居つても、兎に角日本としてはそれに應じてやつて行くより仕方がないのぢやないかと思つて居ります。殊に先生等の方としては、これまでになく今年の揚子江流域が非常に早魃で苦んで居る。それで今

年は外國から米を輸入しなければならぬ。それが約一億萬圓ある。小麥などもやはり一億萬圓位は輸入しなければならぬと言つて居りました。大變に斯ういふやうなことを心配して居りますが、それで現在上海の新聞あたりで錢舗が破産したとかどうしたとかいふことを、頻りに新聞電報に書いて居りますけれども、此の錢舗の破産といふのは、上海事變の直後、あの閩北方面の荒されたことから始まつて居りますが、今迄錢舗といふものは、支那の方では實際大した投資物はないのであります。大體土地の如き不動産が公債といふやうなものを基礎にして居りましたものですから、あゝいふやうな状態になつたのであります。これは早晚清算さるべき運命にあつたのであります。此の頃よく新聞に出ますが、支那の銀行は餘程困つて居るものではないかのやうに見受けられますが、殊に中國銀行などはさういま現に直接困るといふやうな事はないだらうと思ひますけれども、先程申しましたやうに、今年の支那の旱魃や其の他いろ／＼の事から考へ、それから又輸入超過はやはり相變らずあります。従來は大體八億位の入超で、前年もやはりそれ位の入超がありました。昨年は大分減りましたが、それでも五億近くの入超になつて居ります。これをカヴァーする所の華僑からの送金はいふと、今迄の送金の三分の一以下でありまして、昨年は二億元を割るだらうといつて居りますが、なか／＼これ等のカヴァーも段々少くなると考へて居ります。併し現在上海に

ある現銀の殆ど全部を支那銀行が持つて居り、外國銀行の手持現銀は今日は非常に少いといふ状態です。それは外國銀行は昨年殆ど大部分の銀を出して金に替へたのであります。日本の銀行も彼處には六行あります。正金を初め、朝鮮銀行、臺灣銀行、住友、三菱、三井の六行ありますが、此の六行で昨年出したのは向ふで言ふには千三百萬元位、それから奥地に入つて行くと、在銀が三千六百萬圓外國銀行で出したのが一億九千萬元位だと言つて居りますが、現在の所では上海の在銀三億三千萬元といふものは、殆ど支那銀行の手に在るといふことになつて居ります。それでですから先達は當面はどうといふことはないけれども、先を考へれば、此の際どうしても手當をしなければならぬといふ必要は認めて居りますネ。それで新聞などでも、今度蔣介石氏が日本との話を始めるに付ては、奉化といふ郷里から上海に來た時に、上海の浙江財閥——詰り銀行家ですが、その勧誘で、特にさういふ事になつたといふことが新聞に出て居りましたが、さういふ事も確にあるだらうと思ひます。先程もちよつと申しましたが、一昨年でありましたか、綿麥借換で亞米利加から借りました棉は、大部分がストックとなつて、まだ七萬七千何百俵もあるといふことであります。それに今度入つて來るものを加へると十萬俵近くになるのであります。さうすると今一俵五百圓とすればこれぢよつと五千萬圓、總計致しまして五千萬圓のものが彼處に捌けないで其の儘にある。

今迄輸入したのも、日本の紡績が買つて呉れるだらうと思つて輸入したのだが、日本の紡績は一向買つて呉れない。それで彼處に列んで居るのである。これをどうかして呉れるといふことは誰しもが考へることで、それで一時彼處に居る船津氏に對して買つて呉れと言つて來たが、日本は斷つてしまつた。そこで誰も日本の方で買つて呉れる者がないので困つてしまつて、何とか日本との間を緩和して、あの綿を處分したいといふ考になつたのだらうと思つて、併し私等も今度行きまして、特に感じましたことは、從來支那では香港上海銀行といふものが非常に有力でありまして、彼れの一舉一動が支那に於ける金融界に多大の影響を及ぼしたのですが、今日ではさうではなくなつたといふことは、餘程當時と情勢が變つて來て居るのであります。それから昔は旅行致しますと、其の土地々々で以て紙幣を換へなければならず、非常に不便だつたのですが、今日では上海の中央銀行の紙幣であれば、何處へ行つても通ずる。これだけの便利はある。其の他中國銀行、中南銀行の紙幣も宣しうございます。これは兩の使用を廢止した結果でございますけれども、兎も角支那の利權回収は一番先きに支那銀行がやつた様なものでこれで成功して居るのではないが。これなんか、私の旅行して見た話でございます。先づ大體そんな所を……

○郷誠之助男(會長) 今の輸入のカヴァーといふのは何ですか。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 輸入のカヴァーといふのは、先づ第一華僑からの送金ですネ。これは今迄は五億近くありましたが、一昨年は三億位、昨年は約二億元位、今年は二億を割るだらうと言はれて居りますが……

○郷誠之助男(會長) それから亞米利加へ輸出したのは……

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 昨年銀の出ましたのが二億五百萬元ばかりでありましたが……

○郷誠之助男(會長) 私は約四億といふことを聞きましたが、上海から出たのは其の位だつたと聞きました。加藤さんのお調べでは如何ですか。

○加藤敬三郎(鮮銀總裁) 二億ちよつと出て居ると承知して居りますがネ。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 外國に流出した銀は二億五百萬元ですネ。

○郷誠之助男(會長) さうでしたか、亞米利加へ四億と聞いて居りましたが……

○加藤敬三郎(鮮銀總裁) それは歐洲ぢやないですか、支那から四億といふことはないでせう。

○郷誠之助男(會長) 華僑の方からカヴァーして來るのが大部分なんですネ。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) 其の外に尙ほ支那へ宣教師が布教の爲に持つて來る金、及び病院學校等に投ずる金、或は日本でもさうですが、支那に於て外國の陸海軍の使ふ金、外交團の使ふ金、

さういふものがありますネ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) なか／＼此の外國の軍隊が使ふ金が大きいですナ。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) それに支那人又在支外國人の有つて居る外國債の利子、さういふもので今日までカバーして居りますネ。

○郷誠之助男(會長) 支那の日本に對する借款が近頃大分整理されたといふことが新聞などに出て居りますが、どういふ風に整理されて居りますか。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) さうですネ。大體東亞興業の電話借款、それから私の方の電話關係の借款、是も整理されて居ります。尙ほ山東地方の七百萬圓ばかりのものも整理されました。さういふ風に日本に對して向ふが誠意を以てやりつくあることも見受けられます。さうして言ふには、自分等は露西亞の態度は執らぬ。或は米國に對する歐羅巴の態度は執らぬ。私の方では苦しい中からでも借金は大丈夫返します。さういふやうなことを言つて居りますネ。尤も此方の方でも隨分要求した結果であります。併し日本で要求したといふよりも、向ふで先に動いたといふことは事實ですネ。さういふやうな關係もありましたでせうが、私は今度南京に五日間滞在しまして、從來も南京には屢々行きましたが、今度のやうに五日間を愉快に暮したことはありません。此の期間は

變に有效でありました。これは要するに滿洲事變の結果で、内亂もなくなるし、南京首都の建設、或は上海の建設といふやうに、其爲に非常に建設が進んで來て居る。まるで南京の中央政府を滿洲事變が助けてやつた形になつて居る。蔣介石の立場を助けてやつたやうな形になつて居るのですネ。だから昨年は南京政府は公債を出さないで、而も償還する方は一億萬元近く償還して居るのですネ。只今では上海邊ではこれといふ投資物が無いのです。公債も出さないとすると、全く投資物がなくなるので、又公債を出して呉れといふことを言つて居る。今はまるであべこべの状態なのです。政府が発行して居る公債は十億近くあるのですが、年々一億萬元位づゝ償還して居るといふやうな程度です。今年の年關などは、丁度私は十二月末に行つたのですが、今年の新年などは、南京政府としては今迄に全く樂に越した譯ですネ。現在さういふやうな状況ですヨ。

○木村増太郎氏(東京理事) さうすると、中央集權といふことが益々行はれて行くといふことになり
ますネ。

○高木陸郎氏(中日實業副總裁) それからこれも同時に申上げて置きますが、支那では鐵道の建設もどん／＼やつて居ります。尤も金の方は今日借款が出来ないやうなものですから、英國の團匪賠償金などの返して來るもので、出来るだけ鐵道の方をやつて居ります。海洲潼關間の隴海線も延びて

西安迄達し、海州の築港もやつて居ります。鐵道の方はさういふ風にどんく／＼やつて居ますが、其の他に各省に自動車道路を造つて居ります。これも著々と進行して居ります。又航空路の方も、段々延びて居ります。先程私が交通部長に會つて話を致しました際、今年中に西藏まで航空路を完成させると言つて居りました。どの位の日數で出来るかと言ひますと、五日間でやるのだといふことを言つて居りました。何しろ西藏なんといふ所は、今迄支那の方から行くとは想像が出来ないことでしたからネ。

○座長(中野常務理事) 加藤さん、何か少しあなたのお考を……

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 何でも支那で一番問題になるのは、統一が出来て行くかどうかといふことですネ。統一が出来て行くかといふことが、一番の根本だらうと思ひますネ。それで今迄の金融の問題などでもむづかしい問題だが、マアこれで今の状態ですつと行けば、大體私は治つて行くといふやうに思つて居りますネ。これは皆さんの御意見はどうか知らぬが、さうすれば金融の方も世間で言ふやうに險惡ではない、十分やつて行ける途があると思ひますネ。

○座長(中野常務理事) 棉麥借換といふことが、先程から出て居りますが、實際相當に出来て居つても、交通の不便なために、十分の配給が出来ないといふ關係から、あゝいふ状態になつて居るので

ありますが、日本との貿易關係をもう少し改善すれば、十分其の餘地があるといふやうなお話を、先程野田さんから承つたのでありますが、さういふ問題はどうかでせうか、加藤さんの御覽になつた所では……

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 私共は、支那が一體農産物を外國から輸入しなければならぬといふやうな状態に在るのが非常に違つて居ると思つて居る。それだから假に若し此方が支那の政府當路者となれば、先づ第一番に其の點に注意すべきではないかと思ふですネ。

○鹿村美久氏(富士瓦斯專務)それが不成功に終つたのは、支那の農民が反對して居るためですネ。

○座長(中野常務理事) 棉麥借換に對して……

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 棉麥借換ですか、あれは借金が出来ないから、其の代りにやつたので、あれを賣つて金にしようといふのです。

○鹿村美久氏(富士瓦斯專務) 棉を日本に買つて貰はうといふのが根本の目的ですネ。それを排日の爲めに日本が買はなかつたものだから。

○座長(中野常務理事) 麥はどうですか。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 麥も何とかかとか言つても悪いさうです。支那人でも買はぬ。さういふ

話ですヨ。

○鹿村美久氏(富士瓦斯専務) だから其の金額だけは成立して居ないのですネ。

○座長(中野常務理事) 野田さんにちよつと伺つた方が宜いと思ひますが、支那人の日本に對する考と、露西亞に對する考、詰り王道主義とか共產主義とかいふものに對して、どういふ考を有つて居りますですか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) さうですナ、共產黨に對する態度といへば、他人の禪で角力を取らうといふ態度ではないでせうカナ、結局のところさうでせうネ。例へば湖南にしても江西にしても、農村ソヴェエトなどは、昔は純然たる個人單位で出來て居りますが、三四年以前あたりでしたか、農村ソヴェエト青年の兇暴性を緩和する爲めソヴェエトのメンバーに各自「妻」を有たせたのが契機となりまして終ひに家族制度が事實上認められ今ではソヴェエトは家族單位になつて來て居りますネ。さういつた所から共產主義者は、何もそんなに家族的な血縁紐帶を利用しなければ農村で社會の秩序の維持が出來ないなら、それは本來支那社會の傳統によるもので何もソヴェエトの眞似をする必要はないぢやないかといふ意見が、あの中から出て來まして、ある一派が共產黨から飛出して、第三期王道といつたやうな運動を始めたりして居ります。さういつたやうな點から見ても、

支那人がソヴェエトの意思を其の儘呑込んで、あそこで社會革命をするといふやうなことは、ちつと考へられぬと思ひますネ。

○郷誠之助男(會長) 今の支那の共產黨の實際のやり方はどんなものですか。ソヴェエトが今日やつて居るやうなやり方とは違ふのですか、違ふとすればどういふ所が違ふのですか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 名前は同じですが實質は今申しましたやうに違つてゐますが。

○郷誠之助男(會長) 共產主義ですか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) さうですネ。例へばプロフィンテルン(赤色職業同盟運動)などは國民政府の壓迫で殆ど手も足も出ないやうになりましたが、農村のソヴェエト化運動は却々盛んに行はれてゐるやうです。農村ソヴェエトの一番能く出來て居るのが江西省だと思ひますが、私共は此處に行つて見られませぬから、實情は何とも申上げられませぬが、文献に依りますと、やはり形式だけは第三インターナショナルの指令に依つて居るやうです。其の内容は曩に申上げましたやうに、其の基礎になるのはソヴェエトの個人單位から家族單位へと、斯ういふ原則に變つては居りますが、勿論露西亞西伯利農村でも今では——例へば共産的コルホーズの經營、詰り元の自由な自作農業を廢して、共同耕作を原則とした農村であります。之れも今では漸次に地域的な地縁關係

や、或は家族關係などを紐帶として共同耕作が行はれてるやうになつて居るやうですから、斯の家族主義の採用は必らずしも支那のみではありませんが、支那ソヴィエトは其名目に於て共產制であります。が實質は支那社會の傳統的な保境安民の基礎條件たる宗族自治を主とするやうな實情であります。、さういふやうな點がソヴィエトの本國とは餘程違ふ點ですネ。

○郷誠之助男(會長) 私の聞いて居る所では、大體が今のソヴィエトでやつて居ることは、土地、家屋、その他工業でも何でも總て政府がやつて居つたのに、唯財産だけは個人に一部分許して居る。例へば衣食住と申しますか、衣と食とだけは貰ふ物が平等に行かない。平等に分配されて居るのでなくして、其の中で餘計働く者に餘計やるといふことで、其の貯蓄だけは許して居るからして、現在彼處の貯蓄が十六億と言ひましたか、大分貯蓄されて居る。それは勝手に自分の好きな物も買ひ、他の者が木綿のものを着ても、自分はシルクを着るといふやうな事になつて居る。其の他のものは一切國で經營して居る。そこで農民の方は、共同耕作と謂ひますか、これは今七〇%程度だといふやうなことを聞いて居りますが、やはり此の個人の所得は、他人が例へば十五のものならば、其の人は二十得るといふことになつて、それだけは勝手に貯蓄が出来る。さうして何でも買つて行ける。其の程度まで財産は共同でなくして、私有を許して居るといふやうに私は聞いて居るの

ですがネ。極く最近の話ですが……

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 支那農村ソヴェトは個人主義といふよりも、むしろ家族が一つのソヴィエトの分子になつて其の家族の勞働力に應じて土地の耕作權が分配せられて居るやうです。

○郷誠之助男(會長) 今の土地分配といふと、土地は誰が有つて居りますか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 土地は國有です。私有は認めない。土地もいま仰しやつたやうな家屋も、やはりこれは私有は認めて居りませぬ。

○郷誠之助男(會長) それからもう一つ、最近私が聞いて居る話で、今のスターリンのやつて居ることは、國內だけの工作をやつて居る。外には手を延ばして居らぬ。現に日本などには一切手を延ばして居らぬ。所謂第三インターナショナルの仕事はやらぬといふことを聞いて居りますが……

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 支那に對しては矢張り行つて居るやうでございますネ。

○郷誠之助男(會長) それは金で持つて行くのですか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 金も持つて行きますが、併し舊のやうには出て居ないやうです。併しやはり相當の額は出て居りますネ。兎に角第三インターナショナルの本部が、支那の委員會に交付する金も先年のやうな赤色職業運動を直接世界革命戦線へといつたやうな、積極的な働きを目的とする

のでなく農村指導を目的とするから額も亦少ないのでしよう。勿論又國內的の共産主義化といふのも、果して先年通りに行つて居るかどうかは大分疑問だと思ひます。現に農村對策のやうなものも、コルホーズの經營によつて農業生産の減少を來たしたといふ意味から、露西亞の國力の充實、即ち共産主義祖國の勢力充實が、若し農業生産の増大といふことを前提とするならば、過渡的にせよ農民の遠心的生産機能を認めてやらなければならぬ。詰り自由勝手にやらせる制度を或る程度まで放つて置かなくてはいかぬ、目的は達せられないといふ見地から農業の自由生産を或る限度に認めて來たことなどは一つの轉化だと思ひます。

○郷誠之助男(會長) それに對する所得は平等でない。自分の働きに應じた報酬を得るといふことになるのですネ。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 大體或る限度までの範圍ではさうでせう。これは對外貿易關係もありますから、此生産の全部を個人有とすることは原則として認めませぬ。従つて此制度は農民の欲望を充たすためでありますから其の限度は可なり自由で、四、五年前に比べると大分幅が廣くなつて居りますネ。

○郷誠之助男(會長) ツヴァイエートは私が先程申したやうな工合に、最近の狀況としては左様に聞いて居るのですが、それが支那に行つて、支那内部ではやはりさうなつて居ますかネ、餘程違ひがあるのではないでせうか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) これは行つて見ないと判りませぬが、文献に據ると、名前だけは同じでも、内容は先程申しましたやうに違ふやうですネ。例へば土地の耕作にしても、支那人は既に以前から土地の所有權の觀念よりも、寧ろ收益權の觀念の方が強いものでございますから、隨て今と昔とは、所有權を澤山有つて居る人と、さうでない人と違ふといふ程度のものであります。實質的に考へて、さう大して酷い差違はないかと思ひます。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) それは一種の軍閥ですヨ。私はちよつと變つた軍閥のやうになつて來たと解して居るのですが。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 太平天國時代と同様に他の旗印を借りて來て、一つのドミニオンを彼處此處に作るといつたやうな形になるのでせうナ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 陸軍の方ではどうですか、ちよつと伺ふのですが、今の支那は、蔣介石は病氣でどうかいふ噂もあります、さうでないといふ噂もある。併し兎に角蔣介石があつた儘やつて行つたら、どういふ工合に支那が行けるといふお考ですか、先づ支那の全國統制といふことは

むづかしいが、大體中原となる所は統制されて行く、濃度は違ひますが、兎に角今の儘で進んで行くならば、大體蔣介石の勢力はズツと及んで行くといふやうに見える點がありますか。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 先程加藤さんのお話にもありましたか、私も先刻極く簡單ではありましたが、一言それに觸れた積りであります。北支那及び中支那に關する限りに於ては、一年前の情勢と今日の情勢とでは非常に變つて居るといふことを申し上げましたのは、實は其の事を言つたのであつて、全般から見ても中央の統制が多少なりとも及んだと謂ふべきか、或は各地軍閥の力が無くなつたと謂ふのか、結果は同じことではありますが、兎も角も北支那に南京の勢力が相當強く入つて來たといふ事が、一年前と非常に違つて居るといふことを言うた積りなのであります。加藤さんもそれを仰しやつて居られるのでありますが、私も支那の現實の状態といふものは、さういふ風に考へて居るのであります。これはいろいろ原因もあるでせうが、先程高木さんからもお話がありましたか、滿洲問題が蔣介石を助けたやうな形になつて居るので、滿洲問題が起きたために今迄國內で以て内訌を起して居つたものが、全部兎も角も排日といひ、抗日といふ聲に、政府の指金で思想的に動員されたといふことは、争はれない事實であつて、又さういふ風に動員された國民の感情に對しましては、假令各地の軍閥が中央に對し叛旗を翻す時機を窺ふことがあつても、それが國民

に認容されないといふやうな状態である爲め、各地軍閥お互に自制するといふ結果になり、こう云ふ一般の空氣が擬裝中央政權ではありませんが、兎も角も南京政府に非常に僥倖して、北支那及び中支那の情勢が、今日の如く形式的に見れば統制されたやうな恰好になつて來たのではないかと思ふのであります。何れにしましても、これは單に蔣介石の力で成つたのではなくして、滿洲事件といふものが偶々彼に幸じたのだといふ風に私共は觀て居るのであります。そこで斯ういふ情勢が更に今後とも益々強くなつて行くかどうかといふことになりまして、これは支那の事は何でもさうでありませんが、いろいろと豫想してもなかなか其の豫想が當るものでないといふやうなものでありますから、私共としても何ともちよつと申上げ兼ねます。併し大體に於て、これで滿洲事件が國民の感情を刺戟することなくして、此の儘漸次平靜に歸して行くといふことになれば、平靜に歸して行くに従つて、又蔣介石の統制力が衰へて來る。さういふやうな結果になりはせぬか。併し又中央政權のやり方が非常に巧妙に行はれ、或ひは又善隣日本の援助に依頼する事が出來其結果實質的に國民の幸福を招來するといふやうなことになつて來たならば、これは南京政府の力に依つて更に統制が強化されるといふことにならぬとも限らぬと思ひますが、兎も角此の儘日本と特別の事端も生ぜず而も精神的に對立した状態を續けて行くならば、南京政府の勢も今が絶頂だらうと觀測される向も多

いやうであります。唯茲に一つ例外があるのでございますが、それは所謂西南派でありまして、廣西、廣東の兩省は、依然として北支那、中支那とは全然別箇の環境を作つて、蔣介石に對立した恰好になつて居る。だから大體南と、中支那以北といふものは區別をして考へる必要があると思ふのであります。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 此の狀態が續く。それから日本との關係が先づ好く行けるといふことになりなると、やはり西南の方も餘程變つて來はせぬかと思ひますが……

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 日本との關係に依つてはさうなるかも知れぬと思ひますが……

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 其の點は餘程重きを置かなければならぬと思ひますネ。それから先刻お話を聞いて居ります支那の金融機關ですが、これは最近どうも非常な實力が出て來て居ります。今後は蔣介石に限らず誰れにしても支那の中央の政權を握るものは、此の金融機關と旨く合致して行かぬと、今後の狀態では、政權は取れぬと思ひます。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) さうですネ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 此の金融機關も、政權と一緒にやつて行かなければならぬといふ狀態に、今後はなつて行くと私は考へる。中央政權の力が相當に出て來れば、支那の幣制の問題、詰り

貨幣制度は、これも亦變へて行かなければならぬと思ふ。さうすると支那の經濟狀態といふものは非常に變つて來る。これに付ては支那の銀行會社の人達も、まだ本當の觀方をして居ないやうに私は觀測をしたいのです。吾々がマア調べた所に依れば、どうもなか／＼これは今迄と關係が違つて居る。非常に違つてゐます。中央集權といふ譯には行かぬけれども兎に角非常に中央政府といふものは、やり好くなつて來て居る。それが一つ、それから交通の關係が非常に違つて來て居る。飛行機との關係も非常に違つて來て居る。道路や何かに付ては、殆ど七省といふものが、航路整理委員會と謂ひますか、何とか委員會を作つて、省と省とを結び付ける自動車道路、先刻高木さんのお話のやうに、さういふものを今盛んにやつて居る。又縣へは中央から補助を出してやつて居ります。あの苦しい財政狀態でも尙ほやつて居ります。それにどん／＼兵隊を使つてやつて居るといふ譯で、支那の現状は、昔の考で以て支那を觀ると非常に違つて來るといふ感じがある。兵を動かすが非常に樂になつて居る。丁度私が彼の地に在つた時蔣介石より韓復榘の所に江西の方へ兵を出せと言つて來た。そこで韓復榘は直ぐ兵を出した。さういふ事がやはり一つの試金石になるのですか。兎に角私は前にも大分陸軍の人とも話したのですが、陸軍の方は逆も支那は統一は出來ないといふ意見を發表されたが、此の點は非常に吾々の觀る所と違ふ。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) さういふことを吾々は考へて居りませぬ。今仰しやつた金融といふ問題は、これは加藤さんの専門の事で、私共が申上げる迄もないのでありますが、今度の蔣介石の聲明といふやうなことになりますと、相當金融家方面から、さういふ風な空氣を強ひられたといふやうな所もあるやうに聞いて居ります。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) それはありませう。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) それから交通方面のことですが、これは御説の通りでありまして、飛行機が出来、自動車道路が出来、それから鐵道が相當各省に通ずるやうになつたといふやうな關係で、これ等は何れも蔣介石に幸して居るといふことも事實であります。これは主として孰れも揚子江筋の問題でありまして、山東、河北といふやうな所が、今日の状態になつたといふことの原因には餘りなつて居らぬと思ひます。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) さうですネ。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 併し今言つたやうな飛行機だとか、その他通信機關の發達が南京政府にとり非常に情勢が有利に進展して居ることは事實でありまして、四川邊りは以前は全然別世界を爲して居つたといふ状態でありましたが、今度蔣介石が共產軍を討伐することを名目としまし

て、自分の參謀團を入れて、劉湘をして共產軍を討伐させるといふやうな事をやつて居るのであります。此の參謀團を入れたといふことは、何でもありませんが、私共から見れば、茲に勢力を打込んだといふ意義があり、相當重要性を有つて居ることと思ひます。又湖南省邊りに於きましても、尙ほ中央の勢力が比較的及んで居らぬといふ風に言はれて居つたのでありますけれども、これも共產黨討伐に名を假つて、憲兵團を遣つたが憲兵團と謂ひますと、これは蔣介石直轄部隊でありまして、この軍隊の入つた所は中央勢力の擴張地帯となるといふ風に考へると、憲兵が入ることも重要性があることとなります。

更に共產黨討伐の問題であります。従來は江西省に居つたのが、一部の者は昨年九月頃大部分の者は十二月頃から貴州省に入りました。それを追駈けて、中央軍が十個師團ばかり行つたのであります。其の他湖南省の追剿軍、或は廣西軍、廣東軍、貴州軍、雲南軍といふやうなものを總動員して、貴州省の中に追込んで居るのです。これを單に共產軍討伐の進展と見て居れば何でもないのであります。或る一部の者の觀方では、蔣介石は共產軍討伐を丁度好い口實にして、中央勢力の進展を圖つて居る、現に最近に於きましては、貴州省の省長王家烈といふ人、これが西南派に附くか、中央軍に附くかといふことは、西南對中央の關係を見る上に於て、相當重要性を有つて居る

のでありますが、此の人の省長である貴州省は全く中央軍に蹂躪された形で、中央軍は貴州の都、貴陽といふ所の周圍を、取巻いて駐屯して居り中には南を向いて陣地を占領し廣西軍の進撃に備へてゐるといふやうな情報まである程であります。尤もこれは必ずしも本當だとも言へないのであります。更にこれを動機として、或は西南對中央の衝突も貴州から起るのではないかといふことを、考へて居る支那人もある状態でありまして、これ等の共產黨討伐に名を藉つて、又交通路の發展といふやうなことを利用して、中央の勢力を逐次に地方へ浸透させようと圖つて居ると云つても、大體に於て間違ひないだらうと思つて居ります。さういふ風に考へますれば、加藤さんの仰しやつたやうに、目下の所は多少中央側に有利に向いて居るといふやうにも言ひ得るかも知れませぬ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) それからちよつと一言、これは自分の見解ですが、御參考までに申上げて置きたいと思ひますが、浙江財閥といふものがどうなるかといふことですが、これは只今先づ如何なる政權が支那に起つことになつても、此の浙江財閥といふものは牢として抜くべからざる勢力を有つて行くといふ、私は觀方をして居ります。それで浙江財閥といふものが、今日の状態で行けば、一體殆ど支那を支配するといつても宜いと私は思つて居るんですが。又上海といふ所には、何としても日本としては抜くべからざる勢力を彼處に扶植する考を、將來有ち込まなければならぬ。そ

れに對して今迄政府にしても、民間にして見ても、どうも割合に其の點を閑却して居る傾向がありはせぬかと思ふ。支那との關係を旨くやつて行く上に於ては、其の點だけは一つ充分に討議して、成案を得て持つて行かなければならぬといふことを、私共は痛感して居る。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 私共も蔣介石が現在の地位を得たのは、詰り浙江財閥を利用したためであり、浙江財閥もそれに依つて力を増し、お互ひに深く喰込み過ぎたために、何方も今更ら袖にすることも出来ないといふ關係で、今迄兩方の關係を持続して來て居るやうに思ふ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) それから上海が殆ど全支を支配するのです。假に實際貨幣制度の改正にしても、今迄割合に支那の貨幣制度をむづかしく考へて居る人があるけれども、どうしても吾々は兌換券は統一しなければいかぬと思ひます。さうしなければ支那の經濟は發展せぬ。所でそれをやるにしても、實は今日の状態をよく究める必要があると思ふ。日本としてはどうであるかといふと、支那に於て始終軍閥が葛藤して行く其の間に、日本が利益を占めるといふやうな事は、私はどうしても出来ぬと思ふ。支那はやはり統一されて行つて、經濟を發展せしめて行くといふ風に、日本がどうしてもリードする必要があると思ふ。さうすれば日本は非常に貿易の發展ともなり、總てに向つて能く進むことが出来るといふやうに私は思つて居るんですが、此の點は餘程根本的に考へ

ぬといかぬ點だと思ひます。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 其の點でございしますが、それは終局に於てそれが理想であることは、東洋平和を希望する日本人として誰しも異論がない所と思ひます。併しそれを希望はするが、支那が日本と提携的態度にならなくちや、日本自身が困るだらうといふやうに支那人から甘く見られる様な餘り卑窟な態度に出ることは、支那に對しては、根本的に誤謬があると思ひます。それで……

○郷誠之助男(會長) 速記を止めたらどうですか。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) さうですネ。それでは速記を止めて下さい——(速記中止)……

○十河信二氏(前滿鐵理事) 其の點から見ると、此頃日本でアンマリ騒ぐのは工合が悪いですネ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) さうですナ。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) それも支那側に誠意の事實があればまだしもですが何等事實もないのに、何とかかとか日本から頻りに親善を押付がましく騒ぐことは、百害あつて一利もないかと思ひます。私共も眞の經濟提携は極めて結構なことだと思つて居ります。唯之が爲めには支那の誠意を絶對に必要とする云ふ根本觀念を忘れぬやうにして進む必要がある。若し之れが實際行はれ

るならば、日支經濟提携を望む上に於て敢て人後に落ちないのみならず、率先して希望して居る積りであります。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 唯日本が今迄支那といふ國は餘りに大きな國で、人口が澤山ある、これが強くなると日本が困るといふ觀念も一部にはあつたのです。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) さういふ考は日清戦争前ならばいざ知らず今はないでせう。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 其の考があつてはいけない。日本は尙ほ其の上を行くのだから、大いに裕度を大きくしてやつて行かなければならぬ。今迄斯ういふやうなことを言つて居つて、唯支那の意を迎へるに汲々として、いろ／＼の事をやつて行くことはいけない。幸ひ今では日本の勢力を認めて來て居るのであるから、茲で一つ良いやり方をやつて行かなければいかぬと私は思つて居る。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) さうですナ。それで——ちよつと速記を……(速記中止)……

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) さういふ點を一つ出来るだけ民間の方とお話になつて、これから進めて行くが宜いですネ。それが一番今日必要な點だと思ひますヨ。棉花の栽培などでもやはり技術者を出してやるといふことになると、兎に角これが一番效力がある。

○十河信二氏(前滿鐵理事) 昨年春北寧の沿線に棉花栽培をする爲に、支那へ技術者と種子を送り

ましたのですが……

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 何か滿鐵の方から……

○十河信二氏(前滿鐵理事) あれは事變後始めてだつたらしいですが、殷同氏から頼まれて、滿鐵の農事試験場へ留學生を寄越した。約十人の留學生が来て居る筈であります。今居るかどうか知りませぬが、これも餘りさういふ事が新聞などに書立てられると困るが、十人ばかり内緒で人を寄越し居る。それを滿鐵の農事試験場で訓練をして居る筈であります。さういつたやうな事が、先へ出て行くと非常にやり易くなると思ひますネ。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) それが楔になるのぢやないかと思ひます。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) 其の主義で進んで行かなければならぬと思ひますネ。

○郷誠之助男(會長) 今の御話は斷片的なことですが、もう少し具體的に日本の經濟界が執る方針といふものを決めてから掛つたら宜しいナ。唯今のお話のやうなことだけでなくて、吾々は餘程研究しなければならぬと思ふ。例へば生絲などを一生懸命日本で教へてやつた。さうしたらそれが日本の敵になつたといふので、まだブツツ言つて居る所もありますが、それを全體に日本が斯ういふ政策を執つて、經濟的に斯ういふ政策を執るのであるといふことを決めれば、それは宜しいけれど

も、一つや二つのものがどん／＼行きましたも、それは餘り利益にならない。そこで當業者はそれに考を及ぼして行き、日本は産業界にどういふやうな政策を執つて行くことが宜いかといふことを研究して、一つの方針の下にやるといふことになれば、それに依つて一齊にやるといふことにならなければいかぬと、私はさう思ひます。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 其の點ですが、唯支那人は他の國民に對するやうに、さういふ技術的な事を教へたからといつて、直ぐ自分の敵になるやうに心配する必要はないと思ひます。殊に日本人は今少し自己の優秀民族なることを認識して矜度を大きくしてもよいでせう。

○郷誠之助男(會長) 併しそれは心配するやうになつて宜いと思ひますネ。私の言ふのは斷片的な、個々の話ではなく、全體の方針として決めたいのです。例へば吾々の經濟聯盟にした所で、或は商會議所にした所で、吾々としては一つの方針を樹てたい。さうすると何も個々の利益といふものでなく、日本の經濟上の利益、延いては日支提携に於て、これが一番近い良い方法であるといふやうに決まれば、總ての方針をそれに向けて行く。斯ういふのです。

○十河信二氏(前滿鐵理事) 日本の政策が各省の間で多少違ふ、或は出先の官憲の間で非常に意見が違ふといふこともあるやうですが之はですネ、これは日支關係の打開の上に非常に害がある。先づ

これを統制する必要があると思ふ。現に一方に於て日支關係打開の方針を絶叫して居る際に、滿洲に中國銀行の機關雜誌が入らない。何故入らないかといふと、中國銀行の機關雜誌の中には今日統計でも東三省と書いてある。滿洲國のことを偽國家と書いてある。さういふことがあるが爲に、中國銀行の機關雜誌が滿洲へ入つて來ない。支那の經濟事情を調査する上に於ては、絶対に必要なるもので、一番優秀な、一番正確な資料を提供して呉れる其の雜誌を、見ようと思つても見ることが出來ない。これはなか／＼打開が出來ない。中央へ來て話をして見ると、そんな馬鹿なことがあるかと言ふのですけれども、地方の官憲がこれを押へて、どうしても入れて呉れない。さういつたやうな事が、お互に感情的に、至らしめるやうになる場合も、往々にしてあるのですネ。

○今井武夫氏(參謀本部陸軍少佐) 今留學生の話が出ましたが、さういふやうな技術を習得させてやるといふやうなことに付ては、これは私共の方にお話があつても、直ぐ太田さんの方へ持つて行つて、現に外務省にお世話を願つて居るといふ譯でありまして、吾々は非常に結構な事であるといふ譯で、意見も一致して解決に當つて居ります。

○座長(中野常務理事) 先刻野田さんから、物々交換の話がちよつとあつたやうですが、全體的に見て、日支物々交換の方策といふやうなことに付て、もう少しお話があれば願ひたいのですが、どう

でせう……

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) さうですナ。これは私の話ぢやなく、黄郛や殷同の受買りですが、今十河さんの言はれた滿鐵に技術者の養成を頼むといふ氣持の延長であります。其の話によりまして、現狀を打開することに付て、やはり實生活を、日本と支那とは離れられない關係に基礎付けて、茲から出發せぬと、どうにも仕様がな。尙ほ其の時々で、政治的考策、軍事的考策も必要には違ひないが、それを基礎附けるものは、やはり兩方の生活がミツチリと、一體不可分の關係にならなければならぬ。どちらも對立しては困る。二人三脚の状態に基礎附けられないとすると、亞米利加が來れば亞米利加に付き、英吉利が來れば英吉利に附く。今では支那の問題は、『ジュネーヴかモスコーか、若くは東京か』斯ういふことになつて居ります。これも考へて見ると、現に北支那に入つて來る密貿易から考へて見ても、日本品が如何しても北支那に必要だといふ事實が證明せられるのであります。それでやはり此の原則を基礎として、一切の政策をたてねばならぬといふのが先生等の建前のやうでしたがネ。そこで差當り根本的に、例へば灌漑の擴張を或る程度までやらうとしても、それには金が要る。これは今日外務省がやつて居る井戸掘外交、例へば畑に井戸を掘つて下さるなら、大變旱害が防げて宜いと喜んで居りますが、さういつたやうな事を漸次進めて行つて、結局支那の

生産と日本の生産とが互に對立をしないで、衝突をしないで、有無相通するといふ關係に持つて行く。地理的な自然條件を考へて見ると、必ずしも北支那と日本とは對立せぬ。のみならず現在の日本の工業と、北支那の現状といふものを考へると、これは當然對立せぬと思ひます。そこから始めて行かなければならぬですネ。一番先きにさういふ事例を開く爲に天津あたりに交易所のやうなものでも作つて見たらどうか、兩方で直接利害關係を有つ人達がそこで先例を開いて見る。さうすると例へば北支那では、今浙江財閥が主になつて、北支那が銀を必要といへば、これを軍閥の手に渡さないやうにして、それを集めて縣の補償に依つて貸附ける。直接農民に對する金融上の統制を浙江財閥がやつて居る。其の結果が可なり効果が擧る。さういつたやうなことが、漸次に中央集權的な傾向を嵩んで行くが、併しそれに依つて支那農民が潤ふ迄には、相當の時日を要する。それには交通が發達しなければならぬし、行政機構がやはり中央集權的にならなければならぬし、いろいろの條件を必要とするから、直接北支那の農民に潤ふといふのには、相當の日子を要する。さうして其の間に障礙があると、中央集權は都會を通じては先づよく行はれるが、併し一步都會を離れると、そこには非常な害を生ずる。さうなると結局北支那の經濟は立つて行かぬ。そこで農民の生産を成べく有利に轉化して行く方法は、いろいろな手續を経ないで、直接該地に照會する方法が一番都合

が好いといふことになる。そこで交易所が出来れば、其處で相當買入れて、農民は又證券で必要な物を買ひ得る。斯ういふ事になれば排日をやらうとしても、出来なくなつて来る。お互様に恩恵を感じ合ふ。斯ういふやうな小さな例でも早く分るぢやないか、斯ういふやうな所から、交易所を天津と濟南に造つて、出来れば徽州邊りにも造つて見たらどうですか。斯ういふのが股同氏の意見ですがネ。

○加藤敬三郎氏(鮮銀總裁) それは宜いでせうネ。一體支那銀行は總て倉庫を經營して居るでせう。だから相當の金融の方法は立つて居るでせうナ。

○木村増太郎氏(東京理事) 今の交易所といふのはどういふ組織ですか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 向ふが考へて居るのは、貿易業者と錢舗でメンバーを拵へよう。それから日本は出来るなら製造工業家、或は貿易商、さうして一つのポールドのやうなものを作らうといふのですナ。錢舗が何故要るかと申しますと、百姓は錢舗に物を持つて行く。さうして錢舗で發行する滙票ホイビョウといふものがありますが、これは手形のやうなものでありまして、百姓はそれを貰つて行く。結局百姓は成べく口錢を取られることなしにやつて行けるし、錢舗も宜いといふことになる。さういふ意味で、貿易業者と錢舗を入れて、さうして倉庫(糧棧)を經營して行く。斯ういふ事が

支那としては、一番都合が好いといふことを言つて居ります。

○座長(中野常務理事) 關東州の關稅制度は、經濟提携の上に非常な關係を持つて居ると思ひますが、どうですかネ、十河さん……………

○十河信二氏(前滿鐵理事) いや、それは篠崎さんの方が……………

○座長(中野常務理事) 十河さんか野田さんから、どうですか、一つ御説を……………

○十河信二氏(前滿鐵理事) これは篠崎さんが専門家ですヨ。

○三浦一氏(名古屋理事) ちよつと先程黄郛といふ名前が出ましたが、黄郛といふ人は非常に親日的の男で、日本の新聞ばかりでなく、支那の新聞にも非常に親日的な人間だといふ報導が出て居りますが、本當にこれはさうした人間だらうかといふことに、私は少し疑問を有つて居るのですが、何ですネ、支那の中であんなに親日的の態度を執つて、よく迫害を受けないものだと思はれて居るのですが、どういふ人間なんでしょうか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) あの人は日本出身の人なんですネ、私の知る範圍では、あの人の親日といふのは、間に合せぢやなさうですネ。信念を有つてやつてゐるやうですヨ。

○三浦一氏(名古屋理事) さうなんでせうナ。大分前からやつて居りますネ。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 此の間も親目的の話をして、私は何と言つても日本人と支那人とは別々な關係ではいけないといふ考から、濟南事件を解決しようと思つて居るけれども、どうもそれは盲く行かなかつた。そこで五箇年間山に引籠つて、いろ／＼と考へたが、どう考へて見ても、支那と日本と喧嘩をする譯にはいかぬ、斯ういふことで、私は信念を有つてやるのでありますから、私の親日論は大抵これで通つて居りますナ。斯ういふやうなことを言つて居りましたが……………

○三浦一氏(名古屋理事) 非常に信念の強い人なんですナ。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) 可なり強い信念を有つて居りますヨ、但し餘り實勢力を有つて居りませぬ。北支那では實勢力を有たぬといふ意味で、蔣介石が北支那をやらして居るのだと思ひますが、あの人自身は、何時でも變化する親日論者ではなささうだ。私は其の點は個人として大いに敬意を拂つて居りますが……………

○座長(中野常務理事) 野田さん、今の關東州の關稅問題、これは直接非常に影響があると思ひますが、極く大體的のお考でも一つ願はれませぬか。

○野田蘭藏氏(滿鐵囑託) それは先輩の方から——それに大分厄介な問題でせうネ。自由港の機能は今の所は發揮されて居りませぬネ。自由地帯としての機能を發揮されるれば、彼處

は疾うの昔に非常な発展をして居つた筈と思ひますネ。併し事實は今のやうなことでして、一向發展もせずして、其の原因にはいろ／＼あるやうですがネ、併しこれはちよつと言悪い問題と思ひますから、

○十河信二氏(前滿鐵理事) いや、どうも風邪を引いて聲が出ないんですヨ、今日は勘辨して呉れ給へ……………(笑聲)

○座長(中野常務理事) 大分いろ／＼お話を伺ひましたが、もう少し伺へるお話があればお願ひしたいのですが——太田さん如何でせう……………

○太田一郎氏(外務事務官) いや、もう別に……………

○座長(中野常務理事) それではお伺ひすることがなければ、これで此の會を閉ぢることにしたいと思ひます。どうも本日は長時間、各項に亘りまして、いろ／＼お話を承つて、對支問題に對する認識を深めることが出来まして、日滿提携に關する研究を進める上に付ても、非常に參考になることが少くなかつたことを、厚く感謝する次第でございます。速記を致して居りますから、一度お目通しを願つて差支のない程度に發表致したいと存じます。どうも長時間有難うございました。(了)

昭和十年三月六日印刷本
昭和十年三月十日發行
編輯兼發行所
東京市澁谷區原宿二丁目
百七十番地ノ十號
篠崎嘉郎
印刷者 佐々木恒太郎
印刷所 東亞印刷株式會社
東京市京橋區京橋
二丁目十三番地
發行所 東京市總町區丸ノ内三丁目十四番地
日滿實業協會
電話丸ノ内(發)三五番一三八番
振替貯金口座東京四五八〇三番

